

ウエルフェア九州病院は 「特定病院」の認定と「応急入院指定病院」の 指定を受けました（平成21年6月1日付）

応急入院とは

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第33条の4に定められている精神障害者の入院形態の一つです。直ちに入院させなければ、その方の精神障害の医療及び保護を図る上で著しく支障があるのに、通常の任意入院や医療保護入院、措置入院を行うことができない場合、応急入院指定病院であれば、精神保健指定医の診察を経て、72時間まで、本人の同意がなくても入院させることができる制度になります。

精神保健福祉法に定められている入院形態の内では最も運用例が少ないが、応急入院指定病院でないと入院できないことも影響していると思われます。

鹿児島県の応急入院指定病院は当院の他には県立始良病院のみになります。

特定病院・特定医師

緊急時における特例措置

精神科救急医療体制の充実及び強化は、改革ビジョンの「入院医療」中心から「地域生活中心へ」という基本理念の元、精神障害者が安心して生活できる地域造りを推し進める上で必要不可欠です。精神科救急医療体制のセンター機能を都道府県単位で整備するためには、緊急時の運営面でのルールを明確化し、救急体制を早期に整備することが必要です。

そこで平成18年の改正では、特定病院及び特定医師という仕組みが導入されました。その内容は、特定病院の特定医師は、精神科救急医療体制を整備することを目的に精神保健指定医しか行えない任意入院患者に対する退院制限、医療保護入院、応急入院を、緊急その他やむを得ない場合に12時間を限度として行うことができるというものです。

特定病院（一定要件を満たす医療機関）

- （1）「精神科救急医療への参画」：地域の精神科救急システムの輪番病院として参画し、夜間及び休日の診療を受け入れていることが必要。
- （2）「良質な精神科医療の提供体制の確立」：病院に複数の精神保健指定医が勤務しており常時空床を確保していること。
- （3）精神障害の人権擁護に関する取り組みの実施」：精神障害者への人権擁護に関する取り組みの実施。特定医師が行う任意入院患者に対する退院制限、医療保護入院、応急入院の妥当性を検証するため、院内に事後審査委員会を設置し、かつ、院内に行動制限最小化委員会を設置し、月1回以上開催していること。

以上の三つの要件を満たすことが必要です。

特定医師（一定要件を満たす医師）

医籍登録後4年間以上経過しており、かつ、精神科の臨床経験が2年間以上有していること。精神科医療に従事する医師として著しく不适当でないことが必要。

当院の精神保健指定医は4名 特定医師は3名です。

参考：点数表の解釈、らぼ〜る

| | 通常指定医が診察 | 緊急時特定医師が診察 |
|--------------|----------------------|----------------------|
| 任意入院者からの退院請求 | 患者様の病状により72時間以内の退院制限 | 患者様の病状により12時間以内の退院制限 |
| 医療保護入院 | 保護者の同意で期間なしの入院 | 保護者の同意で12時間以内の入院 |
| 応急入院 | 72時間以内の入院 | 12時間以内の入院 |

特別医療法人慈生会 経営理念

- 患者様の健康回復に努め、もって患者様の生活安定と幸福に貢献すること
- 地域住民の健康維持管理に努め、もって地域社会の発展に貢献すること
- 職員の生活向上と幸福をはかること

病棟での行事紹介



めぐみ病棟では、5月20日（水）に病棟行事として、知覧特攻平和会館に行ってきました。館内には入らず、周辺を散策し、鐘を鳴らしたり、三角兵舎などを見学しました。

患者様一人ひとり、様々な事を感じている表情がうかがえることができました。患者様と共に充実した時間を過ごせました。



うみがめ病棟の6月の病棟行事は、紫陽花を作製しました。青やピンク色などの色とりどりのキレイな紫陽花になりました。患者様一人ひとりが一生懸命頑張ってすごく綺麗に仕上がりました。皆様も是非ご覧になって下さい。（介護福祉士 小川隼人）



自立支援医療制度について

当院は「自立支援医療制度」の指定医療機関です。
自立支援医療制度を利用した場合、当院での外来お支払い及び指定薬局でのお薬代が10%負担となります。「自立支援医療制度」のご利用にはあらかじめ申請手続きが必要です。
詳しくは市町村窓口または当院 医療福祉相談員までお気軽にお尋ね下さい。



すずらん会のご案内

すずらん会(精神障がい者家族会)

拝啓 盛夏の候、皆様におかれましてはますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。いつも一方ならぬお力添えにあずかり、誠にありがとうございます。

さて、この度、第 15 回すずらん会（家族会）を下記の日程にて開催することとなりました。多くの方のご参加をお待ち申し上げております。ぜひ、お気軽にお越しくださいませ。

記

目的 ご家族の皆様と、病気や障害について共に学びあい、語り合う事

日時 平成 21 年 9 月 5 日（土） 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

場所 ウエルフェア九州病院 作業療法室（1F）

内容 講演

講師 上野亜希子（ウエルフェア九州病院精神保健福祉士）

テーマ 「法人の社会資源の紹介」

当法人の施設見学（社会復帰アパート・共同住居は一もに家）も予定しております。



座談会

日頃、家族の方々が患者様と接している中で、感じていることや分からないこと、困っていることなどをみんなで語り合う場です。

対象者 精神障がい者をかかえるご家族様



コスモス会ご報告



コスモス会(認知症家族会)



平成 21 年 5 月 23 日（土）に、「今日から出来る頭の体操」というテーマで第 14 回コスモス会を開催しました。認知症とはどんな病気なのか、認知症の予防にはどんな事が効果的なのかを当院作業療法士栗野里江子が講演しました。認知機能の低下や意欲低下を防ぐためには、「生活のリズムを乱さないようすること」「身の回りのことはなるべく自分で行うこと」「1 日 1 回は外出すること」などが効果的であるという講演内容に、皆様とても熱心に聞いていました。

また座談会では、介護をする上での苦労や悩み、体験談などを話して頂きました。他の家族の話を知る事で参考になったり、普段なかなか話すことができない話をする事ができたりと、すっきりされた方も多くいたようでした。

今回ご都合により参加できなかったご家族の方も、まだ参加されたことのないご家族の方も次回は是非ご参加下さい。次回は 11 月に開催を予定しております。

地域活動支援センターうえるふぁあのご紹介第2回

前回の広報誌でご紹介させてもらった『地域活動支援センターうえるふぁあ』です。続けて今回も、広報担当の方をお願いして登場させていただきました。

支援センターは、前回の『相談支援事業』と『地域活動支援センター事業』の二つの事業を大きな柱として活動しています。今回は『地域活動支援センター事業』についてご紹介させていただきます。『地域活動支援センター事業』は、利用者の方に来所してもらい、支援センターを交流の場として活用していただいたり、自分たちの生活する地域社会を「よく知り、楽しく生活しよう!」という視点から、メンバーみんなで外出してさまざまなことにチャレンジしたりしています。

今回は『地域活動支援センター事業』の中から、生産活動をご紹介します。生産活動においても、いろんな活動があるのですが、今手にしていただいている法人の広報誌も支援センターの有志一同で取り組んでいる、支援センターの生産活動の一つです。作業の受注、印刷、製本、発送手配、納品など、役割分担して自分の持ち場をそれぞれ頑張っている様子です。これまで参加された利用者の方々のご意見を、少しご紹介します。

- 作業中、ミスがないか不安になったけど、ミスがなくて良かった。
- 2人が同じ作業をすることで、一人が時間がかかっても作業に支障が出ずに行えてよかった。
- 製本作業はできるけど、納品するのは苦手。
- 流れ作業が上手くいったのは良かったが、流れが速すぎて、ついていくのにやっとだった。
- 外部から苦情がきていないか心配である。・・・など

発送にあたって、全員でチェックしていますが、不備等ありましたら、ぜひ支援センターまでご一報ください。励みになりますので、厳しい意見もお待ちしております。



仕分け作業中～

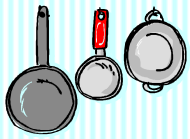
生産活動中は、ソファも物置になってま～す。活動期間中だけですからっ!!



発送手配宛名のシールを貼っているところです。



支援センターは利用者の方をはじめとする皆さんの声によって日々育まれています。皆さんの声から企画した活動や行事に参加し、毎回、大小いろんな発見や感動の嵐です。小さな発見に喜びを感じる毎日を、支援センターで過ごしています。そんな支援センターをもっともっとたくさんの方に知って頂きたく、また活用してもらいたいと思っておりますので、ぜひお茶飲みがてら見学にいらして下さい。ふと笑顔になる『何か』を見つけるお手伝いできればと思います。支援センターをどんなふうにご利用するかは、利用者の方々の思いと同じく、無限大に広がっています。



レストラン課

6月の行事食 牛ヒレステーキランチ



6月の行事食は便秘や冷え性など婦人病に効果的な薬膳料理です。

グリーンサラダ

レタス・玉葱・胡瓜・トマト・松の実・貝割

テンダーロインステーキ

牛ヒレ・フライドポテト・人参のグラッセ・ホーレン草のソテー

デザート

コーヒーゼリーの生クリームソースかけ



薬膳スープで元気に！

海鮮ピラフ

イカ・エビ・アサリ・ホタテ・玉葱・人参・紅花

薬膳スープ

鶏肉・ニラ・白木耳・当帰・エノキ・クコの実

- ・大蒜（にんにく）・・・スタミナアップと殺菌効果、また動脈硬化予防にもよいとされています。
- ・当帰（とうき）・・・セリ科の植物の根で鎮静、鎮痛、血色不良、冷え性、貧血症などに効果があるため婦人病などに使われています。
- ・クコの実（くこのみ）・・・クコに実はナス科のクコ・ナカバクコの成熟果実で多くのビタミンやその他の成分が滋養強壮に作用するといわれています。また、肝臓の働きを正常にする作用があるとされています。
- ・白木耳（しろきくらげ）・・・美肌によく、滋養強壮作用もあり繊維が多いため便秘にもよいとされています。
- ・松の実（まつのみ）・・・滋養強壮や便秘に効果があるといわれています。
- ・紅花（べにばな）・・・体温を温める作用があり冷え性によいとされ、また生理不順、血液浄化作用もあるとされています。

※食品効能についての参考資料

- ・薬用食品学改訂第5版
- ・5訂日本食品成分表

部署紹介 みどり病棟



みどり病棟は精神療養病棟の開放病棟です。

以前は特殊疾患療養病棟として寝たきりの患者様が 80%以上を占めていたため現在でもその殆どの患者様は寝たきりの患者様となっています。その他の精神科の患者様も長期にわたり療養が必要な患者様で施設待ちの患者様や自立困難の患者様が入院しています。病棟内は明るく、大きな窓から望む景色はとてもゆったりとした自然に囲まれています。

職員は、総勢 26 名で看護師 8 名、准看護師 9 名、介護福祉士 3 名、看護助手 6 名で構成されています。平均年齢 37 歳と働き盛りの元気なスタッフが、肩や、腰にかかる日々の苦労を振り払いながら、昼夜を問わず患者様の療養環境を整え快適な毎日を送っていただけるように日々看護、介護に力を注いでいます。

開放的で暖かな療養環境の中で、いつでも笑顔で一声かける習慣、愛情をもったやさしい態度や言葉かけを常に心がけ、穏やかに入院生活を過ごしていただきたいと願い、いつでも明るい声が聞こえる楽しい病棟です。

共同住宅は一もに家のご紹介



現在全国で 300 万人いるといわれる精神障害者の支援施策については、平成 16 年 9 月厚生労働省から「精神保健医療福祉の改革ビジョン」が示され、現在は入院医療中心から、地域における保健・医療、福祉を基盤とした退院・社会復帰が可能なサービス基盤の整備を目指して展開されている状況であります。よって最近では特に精神科入院患者様の「地域移行」・「退院促進」という言葉がよく聞かれております。

当医療法人慈生会では、病状は安定しており退院可能な方々に、「地域で安心して生活できる場を提供すると共に社会資源を利用することにより、社会的自立への促進を図る」ことを目的として、『社会復帰アパート ハイッ・ワンステップ』及び『共同住居は一もに家』を設置し、障害者が地域生活でのより良い暮らしを目指してチャレンジして頂くためのお手伝いをしております。

今回は、6 月より運営開始いたしました『共同住居 一もに家』について紹介致します。

共同住居 一もに家 (一もにか)

利用対象者

- 日常生活において概ね自立しているが、独居するには困難であり、声かけ等の必要な方

- 共同生活を送るのに支障がない方

所在地

- 枕崎市宮田町 (タイヨー枕崎店近く)

住居設備等

- 入居者 8 名〔2 人部屋：1 室 3 人部屋：2 室〕
- 食堂、浴室、トイレ；共有
- 各入居者にベッド、収納棚あり。各居室にエアコン、洗面台あり。
- 職員が常駐しています。

利用料金

- 利用料：月額 15,000 円
- 水光熱費：月額 5,000 円
- 共益費：月額 1,500 円
- 食費：月額 15,000 円
- 日用品費、美容代など個人的に使用するものは実費となります。

その他、詳細につきましては、医療福祉相談課スタッフまでご相談ください。

見学可能 (空室あり)

社会福祉法人城山福祉会

通所授産施設しろやまのご紹介

授産施設とは、身体に障害のある方に自立と社会就労活動への参加に向け、必要な訓練および職業の提供を行う場所です。作業に応じて工賃が支払われます。

現在の授産内容は次の4つに分類されます。

パソコン

- ・ ハガキ、名刺、チラシ等印刷物の作成
- ・ データ入力（ワード、エクセル）
- ・ web用パーツ作成（間取図、地形図、画像加工）他

食品

- ・ 福祉ホーム入居者（希望者）と職員の食事の準備
- ・ お菓子作り

軽作業

- ・ 袋詰、シール貼り、チラシ折 ・ 枕カバー作成 他

てづくり工房

- ・ 七宝焼アクセサリ、木工品、草木染製品の製作・販売

●作業以外に、各種行事、レクリエーションも数多く企画しています！

外出…買い物 映画 観光 見学など

レクリエーション…お花見 夏祭り クリスマス会 フルーツ狩りなど

利用対象者

18歳以上の身体障害者手帳をお持ちの方

※定員は20名です

時間と費用

作業時間 10:00～15:30（月～金、※土曜日）
※土曜日のご利用は変則的となります（月2回程度）

利用料 施設利用負担金一割（上限あり）

※利用者ご本人、世帯の所得に応じて各市町村が決定します。

食事代 300～350円（非課税・課税世帯別）

送迎 無料

見学、利用体験はいつでもできます。お気軽にご連絡くださいませ。

〒891-0144 鹿児島市下福元町 3334 番地

TEL099-269-9777 FAX099-269-3888（担当 星野・樺山）



一日の流れ

8:30 送迎バス出発

9:55 送迎バス到着

→バイタルチェック

10:00 作業スタート

12:00

昼食・休憩

13:00

15:30 作業終了

15:40 送迎バス出発

外来待合ロビーにおいて、当院における行事食(薬膳料理)写真及び障害者による作品展示をしておりますので、ご来院の折には是非ご鑑賞ください。

てづくり工房 風

関連法人であります社会福祉法人城山福祉会 障害者複合施設「しろやまの風」の中にある工房です。利用者の方々が、それぞれの個性を活かしながら 七宝焼・ビーズアクセサリ・木工等に挑戦。てづくりのだいご味を味わいながら創作活動をしております。利用者様が誠心誠意作り上げた作品です。



左よりコースター、ボールペン、万年筆、ブローチ、ペンダント、ストラップ

意見箱コーナー

「病院へのひとこと」

当院では院内8箇所に意見箱を設置し、患者様、ご家族からのご意見・ご要望に応えるべく取り組んでいます。寄せられたご意見・ご要望と、それらに対する回答を一部紹介します。

（待合室の）椅子の座り心地が悪すぎる、どうにか対応できませんか？

⇒座りづらい思いをお掛けして申し訳ございません。少しでも苦痛を取り除くことが出来ればと、クッションや座布団を準備いたして居りますので、お役に立てるかどうかわかりませんが、座り心地が悪い際は受付にお申し付けくださいますようお願いいたします。ご迷惑をお掛けして申し訳ございませんでした。

ご飯が少ない。

⇒主食が少ないとの事ですが、おかわりができますので、少ない時にはおかわりをして下さい。

職員の皆様方はていねいに色々教えてください。

⇒有難うございます。今後も皆様のお役に立てる様にしたいと思います。



患者様の権利

- ◇ あなたは、その生命・身体・人格を尊重されます。
- ◇ あなたは、医療機関を選択し、セカンドオピニオンまたは転医することができます。
- ◇ あなたは、医療を受けるにあたり、自分の状況を理解するために必要な情報を得ることができます。
- ◇ あなたは、自らの自由な意思に基づいて診察・検査・治療等の医療行為を受け、選択し、または拒否することができます。
- ◇ あなたの個人情報保護されます。

患者様の責務

- ◇ 私は、インフォームドコンセントに基づき自らの意思で医療行為を受け、病気の治療に専念します。
- ◇ 私は、医師や看護師等の療養上の指示に従い、共同して自らの治療に参加します。
- ◇ 私は、療養中は病院の規則に従い、病院や他の患者に迷惑をかけません。
- ◇ 私は、自己負担金などの治療費を遅滞なく支払います。



お知らせ

精神科救急 9/13(日)・10/18(日)

うえるふえあ(welfare)は
健康・幸福・福祉・繁栄を意味します

発行人 鮫島秀弥
〒898-0089



鹿児島県枕崎市白沢北町 191
TEL (0993) 72-0055 FAX72-1199
URL <http://www.welfare-kyusyu.or.jp/>
e-mail jiseikai@welfare-kyusyu.or.jp

編集後記 日本放射線技師会主催の放射線技師総合学術大会が6月に鹿児島で開催されました。特別講演で三遊亭歌之介師匠が「感謝のプラス志向」というテーマに、人から受ける物事は、受け取る人の気持ちしだいであり難しい経験になる。というお話をたくさん笑いを交えて講演して下さいました。何事に対しても、受ける人の心ひとつです。いつも笑顔でありがとうと言えればいいですね。

(診療放射線技師 前床寿隆)